

「お出かけ支援アプリⅡ」 外部設計書

第 1.0 版

2022 年 12 月 22 日

学番：2172010

氏名：有馬祥太

1. 目的

コロナ禍における旅行支援において、天候に対して柔軟に予定を適応させ、満足度を高めながら、外国人の方々への利用や、グループ旅行のメンバー間の共有などをするシステムの機能、性能、利用者インタフェースを実現するための条件を整理する。

2. システム概要

本システムは、お客様が予定している出発地・経由地・目的地の天候情報や、GPS による自分の位置情報を使って、おすすめスポットや待ち合わせの場所決めといった旅行の支援を行うシステムである。

(以下で、要件定義書から導かれた具体的な動作の様子をまとめること。)

- (1) 旅行の出発地・中継地・目的地を設定すると、OpneWeatherAPI から各場所の天候情報を収集し、アプリ画面に表示させる。
- (2) グループ旅行者の位置情報は、発信者がメールをメンバーに送り、写真などを添付できるようにする。
- (3) いつでも言語を変更できるように、画面端部に言語の切り替えボタンを用意する。ページが遷移しても言語は戻らないように配慮した設計を行う。

- (4) 歩きスマホは、慣れない土地では、事故につながる可能性が大いにあるので、表示画面は、必要最低限の情報を一目で理解できるような設計にする。主な表示画面は、出発地・経由地・目的地の「天候」、「時刻」、「カメラ機能」を大きく表示する。「言語切り替えボタン」など重要ではない項目は歩きながら行わないようにする。

3. 機能

① 天候情報機能

- (i) 出発地・経由地・目的地の設定機能
- (ii) OpenWeatherAPI からの情報取得機能
- (iii) 出発地・経由地・目的地の天候表示機能
- (iv) 天候に合わせたおすすめスポットの案内機能

② 待ち合わせの際のグループメンバー共有機能

- (i) グループメンバーの連絡先登録機能
- (ii) メール送信機能
- (iii) カメラ機能(カメラのアクセス許可など)
- (iv) 写真等添付機能(写真へのアクセス許可など)

③ 英語対応機能

- (i) 切り替えボタン機能

④ 歩きスマホ危険防止機能

- (i) 簡素化した画面表示

4. ユーザインタフェース

(1) お出かけ支援アプリⅡのユーザインタフェース

起動すると、初期画面を表示する（図1）



初期画面の出発地・経由地・目的地の入力エリアに入発地・経由地・目的地を入力すると、画面中央天候表示エリアに入発地・経由地・目的地の天候を表示する（図2）。



図2の画面より、「共有」ボタンを押すと、メンバー登録の画面に遷移する。メンバーを登録後、位置情報をメールに添付すると同時に、文字や写真を添付して、メンバー間で共有できる。送信後、図2の画面へ戻る。



図2の画面より、言語切り替えをリスト形式で、「日本語」、「English」とし、選択すると言語が切り替わる。なお、あらかじめ、英語表記名を登録しておき、自動翻訳で、外国人が困ることがないように設定する。切り替わり後は、指定された言語で表示された図2の画面へ戻る。



旅行終了ボタンを押すことで、一連の天候情報等がリセットされます。

9:41 100%

出発地 入力してください

中継地 入力してください
+

目的地 入力してください

図1 お出かけ支援アプリⅡの初期画面イメージ

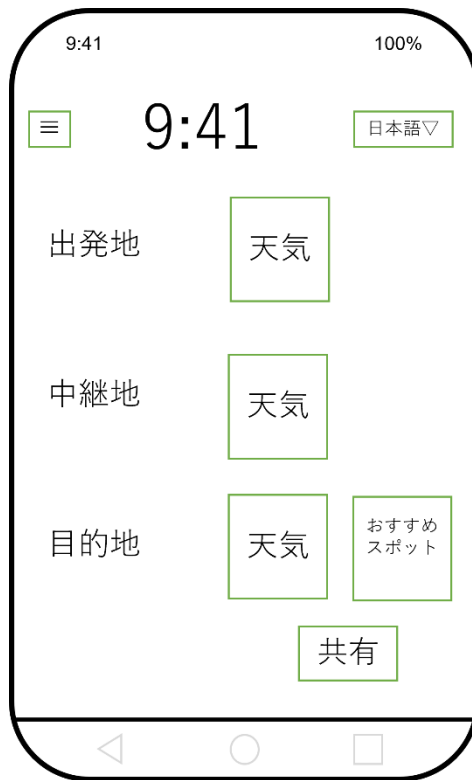


図 2 お出かけ支援の最中イメージ

以上